



さんかく 38号

過去の「さんかく」はこちらから
右 QR から、
市ホームページ「さんかく」
へ（カラー版）



だれもがどれも選べる社会に

タイトルは、令和6年度男女共同参画週間（毎年 6/23～6/29）におけるキャッチフレーズです。内閣府で、「男女ともに自らの個性と能力を最大限に発揮できる社会を実現していくためのキャッチフレーズ」を募集し、決定しました。

「男だから～」「女だから～」と言われたり聞いたりした経験 アンケート結果

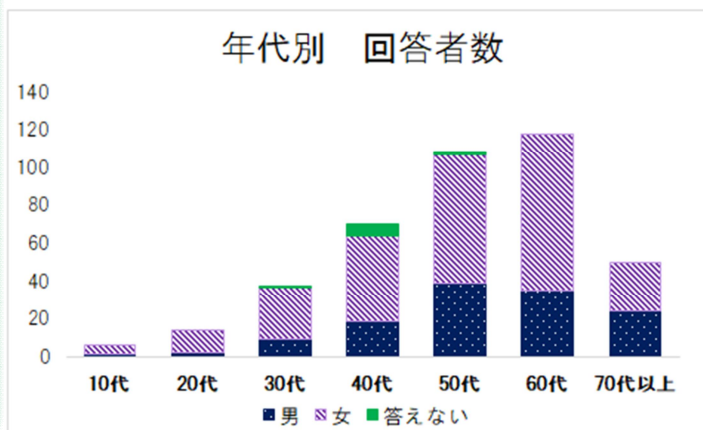
5月29日～6月28日まで市LINEにて実施しました。ご回答くださった403名の皆さん、ありがとうございました！

アンケートについて

性別に基づく思い込みを決めつけられた経験について、下記の6つの文章を読んでもらい、

- ①直接言われたり聞いたりしたことがある
- ②言動や態度からそう感じたことがある
- ③直接言われたり聞いたり、言動や態度からそう感じたことがない

の3つのうち、どれに当てはまるかを聞きました。



「直接言われた、聞いた」または「言動や態度から感じた」経験

【男性】

1	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	80%
2	男性は結婚して家庭を持って一人前だ	77%
2	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	77%
3	女性は感情的になりやすい	76%
5	家事・育児は女性がするべきだ	74%
6	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	71%

【女性】

1	家事・育児は女性がするべきだ	90%
2	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	87%
3	女性は感情的になりやすい	84%
4	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	81%
5	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	75%
6	男性は結婚して家庭を持って一人前だ	72%

今回のアンケート結果は、内閣府が実施した「令和4年度性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究の結果」と同じような順位となりました。

五所川原市でも全国でも、同じ項目の性別に基づく思い込みが多いことがわかりました。



「令和4年度性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究の調査結果」はQRから

割合は回答者のうち、「直接言われたり聞いたりした」または「言動や態度から感じた」と回答した人の割合。

※アンケートは匿名にて集計しています。

どうして性別によって、役割を決めつけたり思い込んだりしてしまうのだろうか？

アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）が関わっています。

～アンコンシャス・バイアスとは？～

過去の経験や見聞きしたことに影響を受けて、知らず知らずのうちに、「きつこうだ」と思い込んでいることや、偏ったモノの見方をしていること。

アンコンシャス・バイアスは、日常にありふれていて、誰にでもあるものです。



○アンケートを回答した方の自由記述の一部

- ・「家事は女性のすること」と言われた時代でした（60代）
- ・20年ほど前、上司に「男は結婚して仕事も一人前になる」と言われた（50代）

回答者が50～60代が多いから、それが当たり前だった時代の流れもあるのかな？

“無意識の思い込み”だと気づいたら、ラクになる！

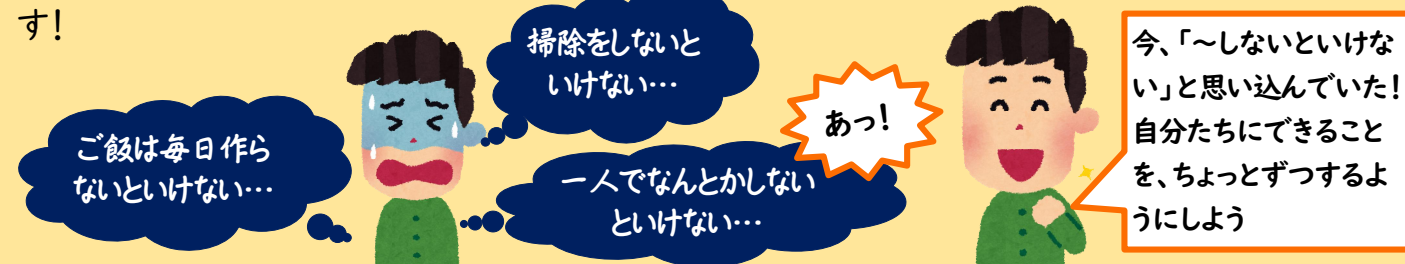
「男だから…」「女だから…」と、無意識の思い込みで、言動していませんか？

それが、相手への「決めつけ」や「押しつけ」になって、選択の自由をさまたげているかもしれません。



自分自身のことも、「〇〇しないといけない」、「自分にはどうせできない」など、無意識の思い込みで選択の自由をさまたげていませんか？

まずは、自分の日常に潜むアンコンシャス・バイアスに「気づく」ことが重要です。アンコンシャス・バイアスに「気づこう」とすることで、アンコンシャス・バイアスを「上書き」する機会になります！



編集後記

この情報紙は市民からの公募による編集委員によって作成されています。女性 (Female) と男性 (Male) がともに支え合い、対等な立場で社会 (Society) を形成することを願って！
2024年（令和6年）8月23日発行
ふるさと未来戦略課男女共同参画室（内線 2237）

先日お誘いいただいたりんご園で、参加者の皆さんからご高齢の方への心遣いや助け合い精神を目の当たりにしてほっこりしました。家庭でもほっこりさせられるよう心がけたい光景でした。（E委員）